

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回弘前市文化財審議委員会議
開 催 年 月 日	令和2年3月3日（土）
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後2時00分から午後4時まで
開 催 場 所	弘前市役所前川新館4階会議室
議 長 等 の 氏 名	委員長 福井敏隆
出 席 者	委員長 福井敏隆 委員 岩瀬直樹 委員 内山淳一 委員 岡田俊治 委員 関根達人 委員 瀧本壽史 委員 山田巖子
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	文化財課長 小山内一仁 同課長補佐 神弘樹 同課主幹兼文化財保護係長 小石川透 同課主幹兼埋蔵文化財係長 岩井浩介 同課主事 佐藤俊介
会 議 の 議 題	（1）文化財指定候補について 1） 普門院本堂 2） 円山応挙筆「幽霊図」
会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	普門院本堂について 円山応挙筆「幽霊図」（返魂香之図）について
会 議 内 容 （ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 ）	別添議事録のとおり

【会議内容要旨】

議題（1）普門院本堂と久渡寺の「幽霊画」の文化財指定候補について

【普門院本堂】

岡田委員 まだ詳しい調査はしていないが、記録によると現存するお堂の中では古い部類に入る。宝形造で本堂を造って、その後増築した部分の屋根の構造が全く違う。こういったつくりの本堂は弘前ではここしかない。

瀧本委員 山観は市民感覚からしても非常に愛着がある。円空仏もあるしそういったものも建物の時代を見るための一つの根拠になるかもしれない。あとはどのくらい文献で詰められるか。

関根委員 本堂の前にある手水鉢が確か宝暦。石灯籠は元禄か享保であったと思う。本堂の下にたくさんの絵馬が捨てられていて、写真は撮りましたが、その中に年期の入ったものがあるやも。

福井委員長 石造物から整備の成り立ちを探ることは必要である。円空仏は時代がもっと古くなって寛文年間までいく。お寺に関係するものでいうと突出して古い。

文化財指定に向けて前向きな調査を検討してもよいと思う。

【久渡寺幽霊図】

内山委員 近世絵画をやっているものにとって知らない人のいないぐらい有名なもの。研究者の間でも応挙の幽霊画の代表作として認知されています。日本国内には福岡市の博物館が伝応挙ということで収蔵しているものと、アメリカカリフォルニア大学のバークレー校に一本。応挙の真筆と認めていいものはこの三幅。その中でも一番出来がいいものと思ってい入るのですが、写真でしか見る機会がなかった。

落款印章はないが、画風は申し分ない。また、足のない幽霊画は応挙が初めて描いたという伝承があり、この応挙画に倣ったものを日本全国で見かける。しっかり調査して文化財指定を行い、お寺の意向もあるができれば保存の観点から博物館に入れていただければと思う。

山田委員 近世の仏教説話の研究者・堤邦彦先生がお盆に幽霊画を出すのは供養の一つの形とおっしゃって全国の幽霊画を調査されている。この風習は全国

でも色濃くあり、近世的な文化の一つ。ちなみに久渡寺は6月に一時間見せている。前任の弘前大学須藤名誉教授からは限りなく本物と伺っている。

岡田委員 真筆かどうかが一番のポイントになる。なぜ弘前にあるのかというところが非常に不思議。

福井委員長 久渡寺に収めた森岡家は弘前藩の家老の家柄。明治4年の廃藩置県の時に藩主家の寺・長勝寺などでは菩提寺を維持するために高禄の藩士がお寺の境内の田畑を買って寺に寄進するというを行うがその一環ではないか。また、伝承によれば天明の飢饉の時に、森岡が上方に金策にいきその時に描いてもらったというものがあります。

福井委員長 両件とも指定に向けて調査を進めることとしたい。

【その他】

関根委員 弘前には多様な文化財があるが、建築か民俗かに偏りがあるように思う。そのほかの文化財について、革秀寺「津軽為信霊屋」内の笏谷石製の宝篋印塔。長勝寺の「津軽家霊屋」にあるさまざまな木製五輪塔。報恩寺から出土した津軽承祐の副葬品。国では旧大名墓所の史跡指定を進めているので。考古でいえば砂沢の土偶も重要文化財に加えてほしい。旧相馬村の関係では湯口の翡翠の大珠。国吉のフラスコ土坑の円筒土器の一括資料も重要な縄文の資料になる。岩城山麓調査時の大森勝山の遺物も。

もう一つ。和徳専修寺の餓鬼供養塔が市の指定になっているが、私の調査によると飢饉の供養塔が一番多いのは弘前だと思う。災害史が注目されているところもあるので市域に広がる30基ほどを一括で指定し、災害を伝えるのは重要ではないか。

内山委員 藩主関係の画像も随分揃っている。所有者がさまざまということであるが一括での指定はどうだろうか。

小松委員 重要無形文化財指定を受けた津軽塗について。輪島塗では古いものも時代の特定が行われている。文献的なものに加えて科学的な面から顔料などの分析を行いデータを蓄積することも必要ではないか。

瀧本委員 弘前藩の藩庁日記は江戸日記、国日記併せて4500冊。一級資料であるからいきなり県指定でも通りそうである。